

学校名	新座市立第六中学校
実施日	令和 3年 1月 25日

<記入の仕方> ○「自己評価」及び「学校関係者評価」の欄には、A～Dを記入してください。

○「自己評価についての説明」の欄には、その評価に至った理由及び自己評価の結果を学校がどのように受け止めるかを明確にしてください。

評価項目「独自」

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
1	学校は、生徒の自己有用感を高め、確かな学力と社会性を身に付けさせるために指導法の工夫、改善に努めている。	B	自己有用感を高めることが学力向上につながるということが、埼玉県学力・学習状況調査によって示唆されている。本校でも、自己有用感を高める学級経営と日頃の生徒指導で生徒に社会性を身に付けさせようと教職員が共通理解・共通行動を取っている。校内研修でも学力向上のための授業改善に、教科ごとに取り組を設定して実践している。	B	学習に集中できる環境を整え、自己有用感を高めて、生徒が自主的・主体的に活動できるよう指導している。学力向上を目指し、生徒に「知る力」「生きる力」「考える力」を養うため学校課題研究に基づく授業改善に取り組んでおり、評価できる。どの教員も生徒の力を伸ばそうと努力しているが、学力差があるので、個に応じた指導ができると良い。生徒全員が何らかのリーダーとなり、指示する側の経験をして欲しい。
2	学校は、特別な教育的ニーズの把握に努め、それぞれの特性に応じた支援を行っている。	B	一人一人の教育的ニーズを教育相談部会を中心に組織的に吸い上げている。併せて支援策についても、専門スタッフからの知見を参考に具体的に組み立てている。全教員が取り組む情報ファイルは、効果的に活用されている。ニーズの多様化・細分化に伴い、実際の支援にあたる人手不足が課題である。	B	一人一人の教育的ニーズの把握に努め、共通理解を図り対応している。特に特別教育支援教育コーディネーターを中心に組織的に対応していること、情報ファイルを有効活用していることは高く評価できる。日常生活の中で生徒の様子を情報交換し、全体で取り組んで欲しい。見守られ支援されているという実感がもてる授業が展開されている。今後の授業展開の研究に期待したい。
3	学校は、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等との連携協力による教育相談を適切に実施している。	A	取り扱う事案が複雑で改善が進まない事例も多く、対応に苦慮しているものの、教育相談の専門家であるスクールカウンセラー、社会福祉の専門家であるスクールソーシャルワーカーとの連携が円滑に進み、見通しをもって相談活動ができるようになってきている。	A	コロナ禍にあつて学校、家庭、地域、各関係機関が連携して取り組まなければならない課題が増加している。スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、さわやか相談員との連携を進め、教育相談に効果的に活用されており、高く評価したい。また突発的な事案についても連携がなされ、迅速な対応がとれていることも評価できる。不登校生徒に対しても丁寧できめ細やかな相談活動を実施している。

評価項目「組織運営」

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
4	学校は校務分掌や主任制を適切に機能させるなど、組織的な運営・責任体制を整備している。	B	ここ数年、職員の入れ替わりも多く、若手教職員が増えてベテランの教員が異動した時期に当たったため、新たな主任層の育成に力を注いでいる	B	校長の学校経営方針に基づき、学年・学級経営が行われており、学校全体の揭示物、教室経営、学校だより等により検証できる。校務分掌や主任制などは整っており適切に機能している。今後も異動してきた職員の育成と組織力の向上に努めて欲しい。
5	学校は経営方針を具現化するために、学校評価の実施等を通じて、PDCAサイクルに基づく学校経営を行っている。	B	校長が掲げる目指す学校像に連鎖させながら各自が目標を立て、実践を重ねている。学期末に各部会を位置付け、定期的に計画の見直し・改善が図られている。	B	校長が掲げる学校経営方針に基づき、校務分掌が適正に推進されている。特にPDCAサイクルの機能を有効に使い、定期的に計画を見直し・改善し、学校経営に努めている点は、評価できる。どの程度PDCAサイクルによって効果が得られているかに疑問が残る。
6	学校は事故や不審者の侵入等の緊急事態発生時に適切に対応できるよう、危機管理マニュアル等を作成し、迅速に対応できる体制を整えている。	A	問題行動・安全教育・教育相談・保健・給食等、校務必携マニュアル・生徒指導上の確認事項を年度の初め全職員に周知し、共通理解を図っている。事故の未然防止を効果的に進めるために、管理職、該当の分掌主任等が注意喚起を行っている。	A	校務必携マニュアルで確認事項を年度の初め全職員に周知し、共通理解を図っている点は評価できる。事故の未然防止を効果的に進めるために不審者情報を発信したり、地域を先生方が見回りしたりしている点は評価できる。コミュニティ・スクールとして学校への期待、信頼も高まっている。

評価項目「学力向上」

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
7	学校は、児童生徒が学習内容の理解を深めることができるよう、学習ルールを定め、それに基づいた授業を展開している。	A	「授業の約束10ヶ条」は生徒に定着し、授業を受けるルールが徹底され、どの教科も落ち着いて授業を受けている。	A	着席チャイムを指導し、「授業の約束10ヶ条」は生徒に定着し、授業を受けるルールが徹底され、どの教科も落ち着いて授業を受けている点は素晴らしい。以前は習熟度に応じた授業をしていたこともあったので、学習についていけない生徒に対応できるとさらに良い。
8	学校は、各教科の指導において言語活動を重視した授業を展開し、児童生徒の思考力・判断力・表現力等の育成に努めている。	B	1学期は、新型コロナウイルスの影響により、一斉授業の形態でしか授業を実施できなかった。今後は、グループでの話し合い活動について、感染症防止を意識しながら、生徒の主体的な学びにつなげられるようさらに工夫していく。	B	新型コロナウイルスの影響により感染症防止を意識しながら、生徒の主体的な学びにつなげられるよう工夫している点は評価できる。友達同士の学び合いによる「気づき」「安心感」は生徒の意欲を引き出すことにつながる。この手段を活用し、生徒に思考力・判断力・表現力を育成できるよう授業を組み立てていくことが必要である。
9	学校は学習指導要領や県編成要領、新座市指導の手引きに基づき、児童生徒の発達の段階や学力、能力に即した学習指導を行っている。	B	学習指導要領等の趣旨に沿った効果的な学習指導が展開できるよう努めている。個々の生徒に係る学力・学習状況をさらに、きめ細かに分析し、実態に基づく授業改善を図っていく。	B	学習指導要領等の趣旨に沿った効果的な学習指導が展開できるよう努めている点は評価できる。個々の生徒に係る学力・学習状況をさらに、きめ細かに分析し、実態に基づく授業改善を図っていくことをお願いしたい。
10	学校は、英語(英会話)の授業の充実するなど、グローバル化に対応できる児童生徒の育成(国際理解教育の推進)に努めている。	B	新型コロナウイルス感染症防止の観点から、外部検定試験等を活用できなかった。校内研修をとおして、英語に関する関心、意欲を高め、自ら進んで表現する指導を一層進めている。	B	英語による身近な話題について理解や簡単な情報交換で表現する能力が向上し、先生方の努力が見受けられる。朝読書でも英語の本を読んで英語に親しむ雰囲気が出てきている。

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
11	学校は、児童生徒が友達や教職員・来校者に進んであいさつをしたり、「です、ます」をつけるなど、場に応じた言葉遣いができるよう指導している。	B	生徒会によるあいさつ運動が実施された。場に応じた言葉遣いできていないときにはその場で指導するよう全職員が心がけている。先輩や教師が見本となり、どの生徒も場に応じた振る舞いができるようになるために、より一層言語環境の整備に努める必要がある。	B	教職員、生徒ともに、来校した際、こちらから挨拶すれば、挨拶してくれるが、進んで挨拶する人は少ないようである。もっと元気よく挨拶ができると良い。言葉遣いは、丁寧であると思う。挨拶運動については、家庭、PTA、地域も一体となって学校をサポートしていきたい。
12	学校は、児童生徒がいじめや意地悪な行為をすることなく、お互いの良さや努力を認め合って学校生活を送れるような環境を整備している。	B	道徳の時間の充実を図るとともに、自らの考えを進んで伝えたり、相手の立場を尊重して接したりすることができるよう指導している。生活アンケートを定期的に実施し、生徒の実態把握に努め、小さなことでも全職員で共有し、組織的にいじめの撲滅を図っている。	B	いじめや意地悪な行為は学校外でもあると思う。指導は難しいと思うが、生徒たちを注意深くみていただきたい。学校は生活アンケート等を実施し、生徒の実態を把握し、担任の先生等に相談しやすい環境づくりをしていることは評価できる。お互いが認め合えるような道徳の時間の充実を図り、今後もいじめのない学校環境の整備をお願いしたい。
13	学校は教職員自らが手本となり、児童生徒に対して規律意識を高める指導を行っている。	B	教員自ら時間を守るなど、きまりやルールを守る必要性を納得させながら教職員規範意識を高めている。	B	生徒たちは、よく教師をみているので、少しでも尊敬できるところが無かったり、規律が守られていなかったりすると、反発心が芽生えると思うので、全教職員が意識を高めていただきたい。

評価項目「健康・体力の向上」

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
14	学校は、児童生徒が体力向上に向け、体育や部活動・休み時間などにおいて意欲的に取り組めるよう指導に当たっている。	B	運動に苦手意識をもち消極的な生徒ほど、体力向上の大切さを意識できるような授業を心がけている。部活動については国・県・市の方針に則り、生徒の自主性、自発性をさらに尊重した活動が展開できるよう工夫を重ねている。	B	コロナ禍において、体育の授業についても、慎重に活動を考慮して実施しているとのことであった。運動が苦手な生徒に対しても、球技などを工夫して実施している。部活動についても、限られた時間で集中して活動できるよう工夫して指導して欲しい。部活動は、心を育てるためにもとても大切であると感じている。
15	学校は、食に関する意識を高める食育に取り組むなど、計画的に健康教育を推進している。	A	六中のきらきら健康指針「早寝・早起き・朝ごはん」をモットーに栄養職員を中心に、委員会活動と連携して、組織的に食育・健康教育を推進している。今後は、特別活動など学校教育活動全体の中でより一層体系的、計画的に指導していく。	A	成長期の身体のためにも食に関する意識を高めることは大切である。地域の食材を取り入れたり、季節感のある献立を取り入れたりと工夫しており、給食だよりも定期的に発行されており評価したい。今後も家庭を巻き込んで、食育の指導を実施していただけると良い。

評価項目「保護者・地域との連携協力」

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
16	学校は、保護者や地域住民の意見を取り入れる機会を積極的に設け、学校に寄せられた具体的な要望や意見を把握し、適切に対応している。	B	新型コロナウイルス感染症防止の観点から、学校運営協議会を実施しているものの、保護者会や授業参観等の機会が失われており、積極的に意見を取り入れるとはいえない。しかしながら学校に寄せられた具体的な要望や意見に対して誠実に対応している。	B	コロナの影響があり、これまでどおりにはいかない状況だが、学校に対する要望、意見については、学校だより等に載せることで、把握を適切に行っていると評価できる。学校は、地域に広く開かれた安全対策のシンボル拠点として地域住民に期待されており、その存在価値は高い。学校に寄せられた意見や要望については、教職員で情報を共有し、指導に生かしていただけると良い。
17	学校は、学校だよりやホームページなどで、教育活動の様子や成果・課題などについて定期的に情報提供している。	B	六中だより、学年・学級だより、保健・給食だよりを計画的に発行している。町内会等地域の方へも配布しており、学校公開の機会に来校される方も増加傾向にある。また、ホームページの更新も定期的に行っている。	A	六中だより、学年だより、保健・給食だよりを計画的に発行している。学校だよりについては、町内会等地域の方へも配布している。学校だよりを地域で閲覧することで、コミュニティ・スクールとしても意識が高まり、学校と地域との距離が身近に感じられ、良好な関係の基盤がつけられている。ホームページの更新も定期的に行っている。
18	学校は、学校応援団組織を活性化させるとともに、保護者や地域と連携して声かけ運動、美化活動、不審者対策など、計画的に実施している。	B	コミュニティ・スクール対象学校として学校応援団活動についての保護者・地域住民の理解が年々深まっていたが、新型コロナウイルス感染症防止の観点から、今年度は朝のコミュニケーション運動等さまざまな取組を中止としている。	A	新型コロナウイルス感染症防止の観点から、今年度は朝のコミュニケーション運動等さまざまな取組を中止とせざるを得ない状況であったことは理解できる。今後も感染症対策は行いながらもコミュニティ・スクールとして適切にPTA活動、学校応援団等の取組を進めていただきたい。保護者、地域住民の参加しやすい工夫がさらに必要と思われる。